

第 1 4 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成 8 年 5 月 2 9 日（水）
 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 日本人宇宙飛行士候補者の決定について
 (3) 通信衛星 3 号 - a（CS - 3 a）の運用終了及び通信衛星
 3 号 - b（CS - 3 b）の定常運用終了について
 (4) ALOS の次世代合成開口レーダ及び次世代型無人宇宙実験
 システム適合型宇宙環境利用実験装置の進捗状況について
 (5) 科学衛星の開発状況について
 (6) 月探査周回衛星計画について
4. 資 料 委 14 - 1 第 1 3 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委 14 - 2 日本人宇宙飛行士候補者の決定について
 委 14 - 3 - 1 通信衛星 3 号 - a（CS - 3 a）の運用終了につい
 て（宇宙開発事業団）
 委 14 - 3 - 2 通信衛星 3 号 - b（CS - 3 b）の定常運用終了に
 ついて（通信・放送機構）
 委 14 - 3 - 3 通信衛星 3 号 - b（CS - 3 b）の定常運用終了に
 ついて（宇宙開発事業団）
 委 14 - 4 - 1 陸域観測技術衛星（ALOS）のうち次世代合成開
 口レーダの進捗状況について
 委 14 - 4 - 2 次世代型無人宇宙実験システム適合型宇宙環境利用
 実験装置の進捗状況について
 委 14 - 5 宇宙科学研究所の科学衛星の進捗状況
 委 14 - 6 月探査周回衛星計画について

第13回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

委 1 4 - 1

1. 日時 平成8年5月22日（水）
14:00～16:00
2. 場所 委員会会議室
3. 議題
 - (1) 前回議事要旨の確認について
 - (2) 安全評価部会報告について
 - (3) 平成9年度宇宙開発に関する調査審議について
 - (4) H-II Aロケットの検討状況について
 - (5) 宇宙往還技術試験機（HOPE-X）の進捗状況について
 - (6) 技術試験衛星Ⅷ型（ETS-Ⅷ）の進捗状況について
4. 資料
 - 委13-1 第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 - 委13-2 H-IIロケット4号機による地球観測プラットフォーム技術衛星（ADEOS）及びM-Vロケット1号機による第16号科学衛星（MUSES-B）の打上げに係る安全対策について（報告）（案）
 - 委13-3 平成9年度宇宙開発に関する調査審議について（案）
 - 委13-4 H-II Aロケットの検討状況について
 - 委13-5 宇宙往還技術試験機（HOPE-X）の進捗状況について
 - 委13-6 技術試験衛星Ⅷ型（ETS-Ⅷ）の進捗状況について
5. 出席者
 - 宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
 - 宇宙開発委員会委員 末 松 安 晴
 - 〃 長 柄 喜一郎

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）	中 西 釦 治（代理）
通商産業省機械情報産業局次長	一 柳 良 雄 〃
郵政大臣官房技術総括審議官	岡 井 元 〃

事務局

科学技術庁研究開発局長	加 藤 康 宏 他
-------------	-----------
6. 議事
 - (1) 前回議事要旨の確認について
第12回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委13-1）が確認された。

(2) 安全評価部会報告について

吉田安全評価部会長及び事務局より、資料委13-2に基づきH-IIロケット4号機による地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)及びM-Vロケット1号機による第16号科学衛星(MUSES-B)の打上げに係る安全対策については、「ロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針」に照らし、妥当である旨の報告が行われ、同部会の報告書が了承された。なお、打上げ実施機関による打上げ計画の報告については射場周辺漁業関係者との調整終了後に行われる旨、事務局より説明が行われた。

(3) 平成9年度宇宙開発に関する調査審議について

事務局より、資料委13-3に基づき平成9年度宇宙開発に関する調査審議について説明が行われ、原案どおり決定された。

(4) H-II Aロケットの検討状況について

宇宙開発事業団より、資料委13-4に基づきH-II Aロケットの初号機の打上げ時期について、静止2トン級H-II Aロケットを平成12年度夏期に打ち上げる場合と平成11年度冬期に打ち上げる場合の二通りの検討結果が得られたこと、また、各々の開発計画のメリット・デメリットの説明が行われた。

これに関し、委員より、両開発計画の妥当性及び内容等についての質問がなされるとともに、着実に開発を進めて行くことが重要である旨の発言があった。

(5) 宇宙往還技術試験機(HOPE-X)の進捗状況について

宇宙開発事業団より、資料委13-5に基づき宇宙往還技術試験機(HOPE-X)の進捗状況について、HOPE-X準周回飛行実験の可能性及び同実験による宇宙往還システム開発に向けた技術達成度等の説明が行われた。

これに関し、委員より、弾道飛行から準周回飛行実験へ変更する理由、開発体制、着陸場及びHOPEとの計画上のつながり等についての質問があった。

(6) 技術試験衛星VIII型(ETS-VIII)の進捗状況について

宇宙開発事業団より、資料委13-6に基づき技術試験衛星VIII型(ETS-VIII)の進捗状況について、開発の必要性、現在検討されているETS-VIIIの実験・実証事項、主要ミッション機器、及びスケジュール等について説明が行われた。

これに関し、委員より、開発する技術の先進性、衛星開発費、共同開発機関の役割分担、使用する周波数帯の妥当性等についての質問があった。